

陶芸の粹、郷里に足跡

加藤孝造さん死去

昨年2月、自身が手掛けた陶壁「みのり」が移設された東濃信用金庫新本店での式典に出席した加藤孝造さん(右から2人目)=多治見市本町



17日に88歳で逝去した陶芸家の加藤孝造さん(多治見市星ヶ台)は、多治見市や出身地の瑞浪市、作陶拠点の可見市にそれぞれ自身の作品や荒川豊蔵作品を寄贈し、多治見市美濃焼ミュージアムや瑞浪市陶磁資料館にゆかりの常設展示室がある。東濃信用金庫本店や多治見市役所、瑞浪小学校などには陶壁もある。加藤さんの足跡を写真と略年譜でたどった。

多治見市は20日から26日まで、市役所本庁舎と駅北庁舎1階に追悼の記帳台を設ける。瑞浪市も同期間、市役所と市陶磁資料館で記帳台を設ける。



昨年11月、人間国宝展を記念した対談で作陶への思いを語る加藤孝造さん(右)=多治見市虎溪山町、とうしん学びの丘エール



●寄贈された陶磁資料のコーナー
2017年、多治見市豊岡町、市図書館
●水野光二市長に寄贈する作品を説明する加藤孝造さん(左)=2016年、瑞浪市役所

■ 加藤孝造さん略年譜

- 1935年 瑞浪市に生まれる
- 51年 多治見工業高校卒業
県陶磁器試験場入場
- 53年 五代加藤幸兵衛氏に師事
- 54年 第10回日展(洋画)初入選
- 68年 第15回日本伝統工芸展で「鉄釉花器」が優秀賞(朝日新聞社賞)
- 70年 多治見市星ヶ台にて独立
荒川豊蔵氏に師事
- 73年 可見市久々利平柴谷に穴窯と登り窯2基を築く
- 85年 岐阜日日賞教育文化賞(現岐阜新聞大賞)
- 90年 美濃陶芸協会長に就任
- 91年 多治見市無形文化財「志野・瀬戸黒」保持者に認定
- 95年 県重要無形文化財「志野・瀬戸黒」保持者に認定
- 99年 若手陶芸家育成へ陶房に古民家を移築し私塾「風塾」創設
- 2009年 日本陶磁協会賞金賞
第29回伝統文化ポラ賞優秀賞
- 10年 国重要無形文化財「瀬戸黒」保持者(人間国宝)に認定
- 12年 瑞浪市名誉市民に推挙
- 13年 多治見市名誉市民に推挙
可見市名誉市民に推挙

